学年通信　４５回生　第 22 号　　今、目の前にあるものに

～Ｓｈｉｎ～

全力を注いで生きる　　12 月 22 日

Team45 のつぶやき 担当 ; 井上 克己

ああ～　もうすぐ卒業か～

3年間、はやかったなあ～

みんないい子で、たのしかったなあ～

でも、さみしいなあ～

西高で過ごす時間も少なくなってきました。
みんなで過ごす時間を大切にしていきましょう。

～今後の予定～

日付	曜日	予　　定	備考
1月 9日	火	始業式･LHR･授業（3.4限）	
10日	水	通常授業（1～6限）	
11日	木	午前中授業（1～4 限）	
12日	金	午前中授業（1～4 限）	
13日	土	大学入学共通テスト（1 日目）	
14日	日	大学入学共通テスト（2 日目）	
15日	月	1.2 限授業　3 限～自己採点	共通テスト問題冊子 受験会場コード
16日	火	午前中授業（1～4 限）	私物完全撤去
17日	水	学年末考査（実施科目のみ）	
18日	木	学年末考査（実施科目のみ）	
19日	金	LHR･ワックスがけ	体操服必要
20日	土	三者面談（希望者のみ）	
2月20日	火	登校日　1限集会　2限LHR	一般入試の結果報告
2月28日	水	卒業式予行	
2月29日	木	卒業式	

＊1 月 20 日（土）からは自宅学習になります。

Team45 のつぶやき 担当 ; 井上 克己
冒頭では心のつぶやきが出てしまい失礼しました。

さあ、谷先生からつないできた **Team45 のつぶやき**も今回で最後になりました。
それぞれの先生方から君たちに向けたたくさんの言葉がありました。これからの人生の中で少しでも役立てばと思います。
さて、今の君たちに何を伝えようか迷うところです。受験に向けて必死に努力している人、進路先が決定してこれからの未来に希望を抱いている人、一人ひとり様々な思いで今を過ごしている君たちに向けてつぶやいてみようと思います。

卒業して、あと数年後には君たちは就職することになるでしょう。その時までに自分の価値を上げてほしいと思います。普段の生活の中で、何かを購入するときに、その価値の対価としてお金を払います。就職したら物ではなく、君自身に対して給料という形でお金が支払われます。最初は働きの差はありますが、同じ時期に就職した同期の人ともらうお金は大体同じかもしれません。私も今までにたくさんのアルバイトをしてきました。私よりも早くアルバイトに入った人より私の方がたくさん働いているのに早く入った人の方が時給は高いこともありました。また、日中、公園やコンビニの駐車場で寝ている人もたまに見かけます。休憩時間なのか勤務時間なのかはわかりませんが、一生懸命働いている人とその寝ている人の給料は一緒なのかもしれません。もしかすると、働きはじめた頃はそんなことはなかったかもしれません。いつの頃からか“そんなに一生懸命働かなくても、給料は一緒なんや”とか“自分がやらなくても誰かがやってくれるだろう”と考えてしまったのかもしれません。しかし、本当にそうでしょうか。最初に書いた通り、何かを手に入れようとするとお金が必要になります。物をもらったりするにもお金が必要です。就職すると労働に対してお金をもらいますが、それは、言い方を変えると、その人自身の価値に給料という形で企業はお金を支払っているのです。企業によっては能力に合わせて給料を支払うところもありますが、中には、働いた年数で同じ額の給料を支払うところもあるかもしれません。どうせ一生懸命働いても手を抜いてももらうお金が一緒なら手を抜いてもいいと考えるのか、自分ができること・やるべきことを一生懸命やり、自分の価値を高めるのか、君たちはどちらを選びますか。手を抜かず一生懸命過ごす毎日の積み重ねで、自分自身を高め成長させることができます。そして、君たちそのものの価値が高まっていくのです。企業も功績が順調な時はいいですが、悪化したときに必要とされない・価値のない人にはお金を払うことはありません。成長することをやめ、自分の価値を高めない人に給料を支払うでしょうか。そんな時に必要とされる人は、手を抜かず日々、自分を成長させ価値を高めていっている人ではないでしょうか。そして、価値を高めるために、これから受験を控えている人は、その努力をしていることが価値を高めることにもつながります。その後、進学して就職するまでの時間、日々の生活の中にも自分の価値を高める機会がたくさんあります。そこでは、あなたのできることを誠実に、人からの評価などを気にせず自分の信じた選択をすることが大切です。あなたのことをちゃんと見てくれている人は必ずいます。今まで過ごした西高での3年間、君たちは自分を成長させていき、気づいていないかもしれませんが、あなた自身の価値を高めてきたのです。実際、あなたたちの成長を先生たちは見てきました。卒業後も成長し続け、自分の価値を高めていき必要とされる人材になってほしいと思います。